

羊水塞栓症の血清検査事業

～ 日本産婦人科医会 医療安全委員会 ～

羊水塞栓症と思われる症例に遭遇した場合

1. 診断基準を検討

下記診断基準を検討

満たす場合は、臨床的羊水塞栓症として対処する。

診断基準

1. 妊娠中または分娩後12時間以内の発症
2. 下記に示した症状・疾患（ひとつ、又はそれ以上でも可）に対して集中的な医学治療が行われた場合
 - ①心停止
 - ②呼吸困難
 - ③播種性血管内凝固症候群（DIC）
 - ④分娩後2時間以内の原因不明の大量出血（1500ml以上）
3. 観察された所見や症状が他の疾患で説明できない場合

2. 検体採取・保存方法

- 血液採取後(プレーン採血管)遠心分離または放置し、血清を得る。
- 採血後、できる限り早期に血清採血管をアルミ箔にて遮光。
- 遠心分離をし、分離血清を遮光後、-20℃で冷凍保存する。（-20℃が不可能であれば通常の冷凍庫でも可）
- 必要血清量は、2ml以上。
- 血漿もある場合は併せて送付する（病態解明のため）。遮光の必要はないが、遠心分離後同様に凍結保存。
- 検体スピッツ（採血管）は、貴院で、腎機能、肝機能を測定時に用いている生化学スピッツ、凝固スピッツ（クエン酸血漿）。

3. 同意書

患者家族に対して十分なインフォームドコンセントを行う。

またSTN、Zn-CPIなどの測定に関して、ご家族またはご本人より同意を得る。

同意書・登録用紙は下記よりダウンロードする。

➔ 浜松医科大学羊水塞栓症班（「浜松医科大学 羊水塞栓症」で検索）

<http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/obgy/afe3/new1.html>

羊水塞栓症の血清検査事業

～ 日本産婦人科医会 医療安全委員会 ～

羊水塞栓症と思われる症例に遭遇した場合

4. 送付

- クール宅急便（冷凍）にて下記に送る。
- 検体到着日は、必ず平日とする。（土・日・祝日の場合、到着時、医局に人がいない場合があるため）
- 検体と同意書・登録用紙を一緒に送付する。
- 1症例につき複数検体を送る場合は、採血時間等判別できる情報を記入。

【宛先】 〒431-3192 静岡県浜松市半田山1丁目20-1
浜松医科大学 産婦人科 羊水塞栓症班

TEL : 053-435-2309

5. その他

- 測定は無料（送料のみ負担）
- 結果が判明するまでに1か月程度。FAXにて報告いたします。